

〈福岡支部〉 福岡地域における若者への就職支援 及び当支部の事業状況等について

Ⅰ 支部のある地域の学生支援特集

福岡県では、国のモデル事業として通称・ジョブカフェという「福岡県若年者しごとサポートセンター」（福岡市中央区天神一―四―二）が平成一六年七月に開設されている。他県でも、「長崎県若者就業支援センター」、「沖縄県キャリアセンター」が発足している。これは、厚生労働省の「若年者地域連携事業」及び経済産業省が進める「地域産業活性化人材育成事業」のモデル事業として設置され、厳しい就職環境にある若年者の就職支援を目的に、相談からスキルアップそして職業選択までのサポートを行うものである。

福岡県の同センターでは常時六名のコンサルタントが在駐し、マン・ツー・マンで初期相談からキャリアアコンサルティングを行っており、この一か月で約一、五〇〇人の若者に利用されている。県下では更に幅広いサポートを目指

し八月に北九州ランチを設置し、一〇月には筑後（久留米市）、筑豊（飯塚市）にもランチの開設を予定している。そして、職業能力の開発、キャリアアップのために、産業界のニーズに的確に対応したカリキュラムの人材養成講座を実施し、アジアで活躍する若者、ワンランク上のスキルを目指す若者を集中的にサポートする。そのほか、大学等新卒学生の就職支援や高校生向けのキャリア教育も視野に入れた活動の展開をはかることになっている。

また、福岡県下では今秋一〇月、外国人留学生のための合同企業説明会「九州キャリアフォーラム二〇〇四」が開催される。海外展開等を図る企業に採用ブースを設け、海外人材獲得の機会を与えることにより、留学生等への支援にもつながると福岡県国際ビジネス人材支援会議（事務局・福岡県商工部国際経済観光課）等の主催側は期待している。プログラムは留学生のための就職セミナー、就職面談会、行政書士等による外国人就職・採用相談、企業・留学生交流会等が予定されている。

Ⅱ 今、支部で取り組んでいる事業について

近郊の小・中学校や公民館、市町村主催のイベント等に福岡地域で学ぶ留学生を講師として紹介し、語学教育、民

族の文化や習慣等を披露するなどの交流を行う事業を実施している。この事業は、相互に国際理解、国際交流、国際協力の意義を推進させるとともに、留学生に対しては経済支援に寄与するものである。

特に、福岡県甘木市教育委員会が管轄している八つの小学校においては、平成一一年度から授業の一部を異文化理解のための時間として設定し、留学生講師による英語教育や外国の文化、習慣等の授業を行っており、有意義な企画として、前年度は延べ一七〇名の留学生講師を紹介するまでに至った。この他にも、同様の企画を年度内実施に向けて検討している教育機関があり、今後、さらに拡大していくものと思われる。

さらに、本支部が管理・運営している福岡国際交流会館内に小学生や中学生を招き、在館中の留学生や福岡市近郊の大学に在籍している留学生が自国の文化等を披露し、低学年から国際社会への認識を深めさせる企画も積極的に実施している。

この他に、語学講座事業を実施するが、この事業は地域交流の一環として、本会館に在館している留学生や近郊の大学に在籍する留学生を講師として採用し、安価な受講料で語学の修学ができる企画となっている。

実施は、本年九月下旬からとし、月曜日に韓国語（初級）、

水曜日に中国語（初級）、金曜日に英会話（中級）とした。各科目とも一九時から二〇時三〇分までの九〇分授業を二〇回開講し、受講定員は一五名程度で、場所は本支部の事務室がある福岡国際交流会館内で行う。なお、講師は広報紙等により募集する予定である。

次に、ボランティア事業として、福岡県留学生会（県内大学所属の留学生代表の会）が主催するボランティア活動に、本支部は他の複数団体とともにこの企画・運営に参画することにした。

活動は、福岡市の西方にある糸島郡志摩町の引津湾で、九月一八日（土）に「クリーン福岡キャンペーン二〇〇四」として、海岸の清掃を予定している。これは、九州大学が福岡市西区元岡や糸島郡志摩町などにまたがる新キャンパスに平成一七年度から一部移転することから、海岸清掃後、地元住民との地引網漁やバーベキューパーティーを通して留学生と地元住民との交流を図ることを目的に実施するものである。

この活動への参加者は、外国人留学生、日本人学生、地元住民、関係者等で約二〇〇名を予定しており、この事業を通して、国際理解や国際交流などの発展の一助となることを期待している。